

平成29年度 第1回 東海村スポーツ推進計画策定委員会会議録

1	開催日時	平成29年5月25日(木) 18時から19時40分まで
2	場所	東海村役場 4階 403会議室
3	出席者 (敬称略)	<p><委員> 塚原美光, 大関達也, 吉沼玲子, 野沢恵子, 石丸美代子, 田畑由紀子, 小泉親彦, 山田直広, 川崎明彦, 松坂晃, 杉山章子, 橋本礼子, 久保田泰世</p> <p><事務局> 川崎教育長(途中退席), 大内教育次長, 千葉生涯学習課長, 平根生涯学習課長補佐, 物井生涯学習課係長, 吉成社会教育主事(途中退席), 大森生涯学習課主事(途中退席), 有村生涯学習課主事(途中退席), 東海村文化・スポーツ振興財団平根係長, 丸山介護福祉課長, 澤畑健康増進課長</p>
4	欠席者 (敬称略)	鈴木範英, 植田裕美
5	公開又は 非公開の別	公開
6	非公開の理由	—
7	議題	<p>(1) 計画策定の趣旨について</p> <p>(2) 村内スポーツ環境の現状について</p> <p>(3) 計画策定の進め方について</p> <p>(4) スポーツ活動に関するアンケート調査実施について</p>
8	配布資料 【資料 No.】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画策定にあたって【1】 ・ 第1期スポーツ基本計画の全体像【2-1】 ・ 第2期スポーツ基本計画のポイント【2-2】 ・ 茨城県スポーツ推進計画の概要及び体系表【2-3】 ・ 東海村のスポーツ(体育)施設一覧【3-1】 ・ スポーツ関係施設等の位置図【3-2】 ・ 村内スポーツ施設の利用状況【4-1】 ・ 学校開放事業の利用状況【4-2】 ・ 東海村のスポーツ推進体制【5】

	<ul style="list-style-type: none"> ・東海村のスポーツ推進計画の構成（素案）【6-1】 ・東海村スポーツ推進計画の策定スケジュール【6-2】 ・アンケート調査票案【7】 <p><参考（パンフレット）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・東海村スポーツ施設利用案内 ・スポーツ少年団募集案内 ・スマイル東海募集案内
<p>9 発 言 内 容</p>	<p>■委員長及び副委員長選出</p> <p><委員長>松坂晃 <副委員長>杉山章子</p> <p>■議事進行 委員長</p> <p>■議事</p> <p>事務局）（1）スポーツ計画策定の趣旨について説明【1・2-1/2-2/2-3】</p> <p>委 員）策定する計画の内容は国や県に倣うのか。</p> <p>事務局）国や県の計画を参酌して策定する予定だが、東海村の特性・地域性を踏まえた特色ある計画としたい。</p> <p>委 員）様々な村の現状を把握する必要がある。</p> <p>事務局）必要な資料、情報は適宜提供する。</p> <p>委 員）村の総合計画や教育振興基本計画との整合はどのようにとるのか。</p> <p>事務局）総合計画や教育振興基本計画の中に位置づけられたスポーツ分野の施策と関連付ける。</p> <p>委 員）村の計画をどの程度踏まえるのか。前述の計画以外にも健康関連の計画もある。</p> <p>委 員）最初から村の上位計画との関連を意識し過ぎないようが面白い計画ができるのではないかと。結果的に、村の計画から逸脱しないものができるはず。</p> <p>事務局）総合計画では具体的な取り組みまでの記載はない。スポーツ推進計画では5年間で取り組むべき事業レベルの取り組みを記す。</p> <p>委 員）県の計画は目標値を数値化している。村のスポーツ</p>

	<p>推進計画でも同様か。</p> <p>事務局) 今後の検討事項でもあるが、達成度を測るため一部数値化は必要だと考えるが、数値化が目的ではないことから今後の検討事項となる。</p> <p>事務局) (2) 村内スポーツ環境の現状について説明【3-1/3-2・4-1/4-2・5】</p> <p>委員) スマイル東海は財団の支援のおかげで事業展開できている。今後の課題としては、コミセンを使った事業を強化したい。コミセンで実施している他の事業内容がわからず、高齢者向けの事業展開に支障がある。村民への情報提供のあり方も改善の余地がある。</p> <p>委員) コミセンの施設利用や事業内容等の資料、情報も必要である。</p> <p>委員) コミセンが活用されることで地元の方々の利用に支障が出るのは困る。</p> <p>委員) 阿漕ヶ浦公園の利用率も知りたい。</p> <p>事務局) コミセンと阿漕ヶ浦公園の利用状況は次回の会議でお知らせする。</p> <p>委員) 財団から何か意見はあるか。</p> <p>事務局) 部署ごとに事業のPRが様々あり、情報発信の統一性が必要だと感じる。所管団体以外の情報が入ってこない状況も改善が必要だと感じる。</p> <p>委員) 情報のワンストップ化の検討が必要である。</p> <p>事務局) (3) 計画策定の進め方について説明【6-1/6-2】、(4) スポーツ活動に関するアンケート調査実施について説明【7】</p> <p>委員) 県ではライフステージに応じたスポーツ活動の推進が掲げられている。障がい者にも配慮した計画としてはどうか。</p> <p>委員) 幼児期や高齢者のフォローも必要である。</p>
--	--

	<p>事務局) ニーズの洗い出し方を検討する。アンケートについて、学校及びスポーツ団体には別途意識調査を実施する予定。障がい者等の団体へも必要に応じて個別に状況把握を行う。</p> <p>委員) 第2回会議では久慈川河川敷運動場整備計画の方針が協議内容となっている。河川敷は子供がサッカー(スポーツ少年団)でよく利用している。今以上に利用しやすい環境となればよい。現時点での要望は、河川へ侵入防止のための柵の設置、トイレ及び水周りの改善である。</p> <p>委員) 6月24日に総合体育館で障がい者のスポーツ大会がある。精神障害者がソフトバレーを行う。</p> <p>委員) 障がい者スポーツへの取組みはスマイル東海でも実施したことがあるが、輪を広げるのが難しいと感じている。運動の手助けをする家族等のサポーターをどう位置づけるかが大事である。</p> <p>事務局) 東海村はスポーツの活動者数に対して施設の提供が不十分との意見をいただくことがある。今後、国体更にはオリンピックやパラリンピックも開催される。障がい者の枠にとらわれず、老若男女全てが対象となる計画を目指したい。</p>
<p>10 今後の予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第2回委員会は6月下旬開催予定。 ・ 各委員からの意見(約2週間を目途に意見シートの提出)を基にアンケート調査票の内容検討。 ・ コミセン及び阿漕ヶ浦公園の利用実績及び事業内容の把握。